

II. きたるべき少子高齢社会を考える

重松峻夫（福岡大学名誉教授）

III. 古代の出雲

藤岡大拙（島根県立島根女子短期大学学長）

会長講演 ライフスタイルの変遷と健康

多田 學（島根医科大学教授）

シンポジウム「21世紀をになう子供たちのヘルスプロモーション」

座長：岸本拓治（鳥取大学衛生学教授）

演者：勝野眞吾（兵庫教育大学生生活・健康系教育教授）

猪野郁子（島根大学教育学部教授）

鏡森定信（富山医科薬科大学保健医学教授）

2日目は約50題の一般口演がなされたが、そのうち「保健統計・人口」の分科会で発表された演題を以下列挙する。

- ・白内障有病率に関連する因子：47都道府県間の ecological 研究から
吉田正雄ほか（杏林大学公衆衛生学）
- ・東北諸県の平均寿命について
綿引信義ほか（国立公衆衛生院保健統計人口学部）
- ・睪臓の悪性新生物死亡に関する構造分析
横田素美ほか（北里大学看護学部）
- ・わが国における避妊と人工妊娠中絶の現状：第11回出生動向基本調査の結果から
佐藤龍三郎（国立社会保障・人口問題研究所）
- ・「長寿村」梶原における過去の死亡構造：大正5年～昭和6年の生命表分析
松永あゆほか（東京大学人類生態学）
- ・最近の心疾患死亡構造変化の分析
川久保清ほか（東京大学健康増進科学）
- ・東南アジア保健統計の編集からみたタイ統計システムの現状と課題
大澤清二ほか（大妻女子大学）
(佐藤龍三郎記)

1998年度人文地理学会大会

1998年度の人文地理学会は1998年11月14～16日、京都大学（京都府京都市）にて開催された。地理学の学会において人口研究に関連する発表が近年増加しているが、今回はとくに多くの多彩な報告がおこなわれた。ここでは題目および報告者（所属）の紹介にとどめたい。

「教会簿からみた住民の健康状態と地域変化—北イタリアの3つの集落の比較—」

加賀美雅弘（東京学芸大学）

「ベトナム難民女性の社会的統合とシチズンシップ」

吉田道代（お茶の水女子大学・院）

「旧奉天（瀋陽）市在住日本人の存在形態—1906年～1942年—」

Rosalia Avila-Tapies（京都大学・院）

「日本植民地時代の台北における民族別居住分化と社会空間」

水田憲志（関西大学・院）

「在日コリアンの居住パターン—大阪大都市圏を事例として—」

李 禧淑（京都大学・院）

「東京大都市圏における独身女性の居住地選択」

—統計資料とアンケート調査による定量的分析—

若林芳樹（東京都立大学）、由井義通（広島大学）、矢野桂司（立命館大学）
「東京大都市圏における独身女性の居住地選択—定性的分析による考察—」

神谷浩夫（金沢大学）、影山穂波（お茶の水女子大学）、木下禮子（東京都立大学・院）
「高齢者福祉サービスに関する市町村間の依存関係とその変容

—広島県東広島老人保健福祉圏域を事例として— 杉浦真一郎（広島大学・院）
「地域の高齢化の要因に関する考察」 岩垂雅子（東京大学・院）

「京都市における近年の人口動態—自然動態および社会動態の地域差、
1990年10月～1997年9月— 香川貴志（京都教育大学）、楮 勁風（上海市師範大学）

「近世地方都市における流入人口の特性—飛騨・高山町の「他国者住居」について—」
加藤政洋（大阪市立大学・院）

「明治期におけるメッシュ人口推計—地形図を手掛かりとして—」
小池司朗（東京大学・院）、荒井良雄（東京大学）
（中川聡史記）

第71回日本社会学会大会

第71回日本社会学会大会は、関西学院大学において11月22日～23日の両日開催された。

今回は人口部会は設定されなかったが、「家族」「都市」「福祉・保健・医療」「性・ジェンダー」「子ども・青年・中年」「国際・エリアスタディ」「産業・労働・組織」といった各部会で、少子・高齢化社会を念頭においた報告が多数あり、人口学的興味にとっても有益な討論がおこなわれた。以下に人口に関連する報告を列挙する。

「専業主婦志向と育児ストレス」 小林万紀子（東京都立大学）

「子育て支援金条例の『効果』—自治体の少子化対策と住民意識—」
宇田川拓雄（北海道教育大学）

「夫の家事・育児時間変化の要因分析」 永井暁子（（財）家計経済研究所）

「家族ライフスタイルの多様化に関する実証的研究」
野々山久也、片岡佳美、栗山直子、春日井典子（甲南大学）

「未婚化の要因分析—横浜市の『結婚に関する意識調査』」 山田昌弘（東京学芸大学）

「日本における経口避妊薬（ピル）についての報道にみる医学的『言説』」
ビタレ・アナリア（大阪大学）

「大衆長寿化社会における人間形成と『中年の転機』
—『人生過程としてのエイジング』の視角から—」 小倉康嗣（慶應義塾大学）

「高齢化社会における諸制度の比較・分析」 神山英紀（東京大学）

「社会規範とその変容の措定—皆婚規範を中心に」 種村 剛（中央大学）

「再就職のタイミング—結婚・出産退職後の労働市場再参入過程のハザード分析」
平尾桂子（上智大学）

「女性労働パターンの経済的要因分析—イギリスにおける maternity leave 利用者を中心に」
松村真木子（お茶の水大学）
（岩澤美帆記）